



有明高専だより

第80号

1993. 6



花開く桜棟（女子寮）

特集1 Welcome, Freshmen!

第31回入学式	2
女子寮一桜棟開花	3
新入生オリエンテーション	4
待望の新入生	5
新任教職員 Q & A	6

特集2 Farewell, Graduates!

第26回卒業式	8
卒業生へ 在校生へ	9

目

退官教官Q & A	10
卒業生の進路・表彰	12
学生表彰(1年間皆勤・精勤者)	14
研修旅行(4学年)	15
公開講座・高専大会日程	16
30周年記念事業	16
編集後記	16

次

特集

Welcome, Freshmen!

第31回 入学式式辞

いのち有るもの皆、生きる喜びを思う陽春のこの佳き日に、有明工業高等専門学校第31回入学式を執り行い、技術の道を志す211名の入学生を迎えることは、本校教職員一同の心から喜びとするところであります。日頃の努力と精進が実を結び、試験に合格して入学を許可された諸君、おめでとう。諸君の栄えある入学を心から喜び、衷心よりお祝いを申し上げます。また、本日の喜びは独り君等だけのものではなく、今まで諸君を支え、導いてこられたご家族や出身校の先生方のお慶びでもあると存じます。ここに、これらの皆様方も私どもからのお祝いの気持ちをお伝えしたいと存じます。

さて、いま諸君はこれから始まる本校での学生生活に対する期待と希望で胸をふくらませていることと思います。ご承知のように本校は5年一貫教育によって、各学科が属する各工業分野を専門とする高度な実践的技術者を育成する国立の高等教育機関であります。従って、当然ながらそれぞれの専門分野に関する基礎科目の学習と、実験、実習、製図などが、学校での教育の最も大きな部分を占めることになります。そしてそれをしっかりと身に着けることが、優秀な技術者になるための第一条件であることは申すまでもありません。

しかしそれと同時に、工業技術は人類を幸福にするためのものであり、工業化社会である現代においては、人々の生活に直接的な影響力を持っています。それゆえ、技術者にはどのような技術や製品が人類に本当の意味での幸福をもたらすかを、時代的背景に立って正しく判断できる力が求められます。すなわち、技術者は深い専門的知識と高い技術的能力に加えて、社会人として広い視野を持ち、豊かな教養を身に着けておくことが必要であります。そのような意味から、高専では専門科目に加えて広い分野にわたる一般科目的教育が行われますが、諸君はそれにとどまらず、自分から積極的にいろいろな書物を読んで教育を高める努力をすることを忘れないでください。

ところで、技術者に求められるもう一つの要件は、美しい精神をしっかりと支え、高い技術力を存分に発揮させることができる健康な身体を持つことであります。

これらの点から言って、いま述べた正課教育に加えて、学生の自主的活動として行われる体育系と文化系の課外活動は大きな役割を果しており、どうか課外活動にも積



極的に取り組んで行かれるよう希望します。

街の中心を離れ、東に小岱山の緑を仰ぎ、西に遠く有明海を望む、静かで自然に恵まれたこの萩尾台のキャンパスは、諸君が学問と技術の研鑽に励み、美しい心と健やかな身体を育むには誠にふさわしい、全国の高専の中でも有数の環境にあります。

諸君は高等教育機関に入学した本日から、生徒ではなく学生と呼ばれことになりますが、そのことは今までのよう先生の導きに他動的に従うのではなく、自主性を持って自己啓発に努めて行かねばならないことを意味しています。どうかこの恵まれた環境の中で、自分からじっくりと根気強く日常の研鑽を重ね、基礎から着実に積み上げた学力と技術力を諸君の中で蓄えてゆくよう努力して下さい。高専は5年での完成教育を基本としていますが、その後更に勉学を続けたいという場合には大学への編入学の道も開かれており、本校からも毎年十数名の諸君が進学しています。どうか諸君も入学時から志を高く持って勉学に励んで下さい。

また、学生時代は人生の中で人と心の交流が一番純粹にできる時期です。どうか先生方との信頼、友達との友情を深めながら一日一日を有意義に過ごして下さい。

いまや地球上の人口は十数年に十億という速度で増加しつつあり、百億に達するのもそう遠いことではありません。この増え続ける人類を支えることができる技術を描いて外にありません。これから諸君が、本校において技術者を志して学ぶことに誇りと自覚を持ち、積極的な学生生活を送られることを願って式辞いたします。

平成5年4月9日
有明工業高等専門学校長
高松 康生

□ 桜棟開花 ー女子寮完成

平成5年3月25日に女子寮（桜棟）が完成し、4月5日、4階研修室において、荒尾、大牟田両市長、前校長、前事務部長等関係者を来賓に迎え完成を祝った。式典に先立つ施設案内、引き続き校長により関係各方面に対して感謝の意を表され、大牟田市長の祝辞の後披露パーティに移り盛会のうちに終了し、関係教職員は決意を新たにした。

4 C 千 蔵 り か “通学時間の短縮、寮生活の体験”

私が女子寮へ入寮したのはこの二つの目的であったからですが、今はただ単純に寮生活を楽しんでいます。新築だからきれいな上、設備は整っているし、個室だし、後輩はみんな素直な良い子だし。ちなみに寮生スタイルといえばジャージにTシャツですが、1年生の女子達は今だに華やかさを保っています。早々に脱落した私は、彼女達の若々しさに圧倒されずにはいられません。

竣工1年目、全員が新入寮生の女子寮ですから、分からぬことだらけです。もう2、3年もすればそれなりの秩序が生まれると思います。それまではいろいろと皆さんにご迷惑をかけることになるでしょうが、どうか温かい目で見てやって下さい。



3 A 田 畑 友里恵

私はもともと下宿していてそこから自転車で通っていましたが、今年女子寮が新設するということで規律ある団体生活に挑戦してみようと思い、入寮しました。

上級生が6人しかいないので、初めは大変だと思いましたが、それも大分慣れました。寮生活は下宿の時とは違って時間帯がしっかりと区切ってあり、自然と規律正しい生活感覚が身についてきます。そして、団体生活という面から見てみれば、自分勝手ではなく、他人の事を考えることが大切だということを知ります。例えば、トイレのスリッパや風呂の順番では、後に来る人のことを思ふ気持ちが身についてくるのです。

その他、女子寮ならではの良いところも多くあります。皆元気が良く、毎日どこにいても笑顔が見えます。年頃なので恋愛についての話もよく聞き、そういう時も皆で悩んだり喜んだり共にしています。

これからも、元気で明るい女子寮だと好評を博すようにしていきたいと思っています。



1 E 大 塚 美 和

私たちがこの寮に入って1ヶ月以上過ぎました。初めの頃は、不安で眠れない夜もありましたが、今では寮生活にも慣れ、毎日楽しく過ごしています。

寮に入ってよかったですとは、うちでは勉強しようと思っても、ついテレビを見てしまうのですが、寮では集中してできるということ。悩みがあればいつでも友達に相談できるということ。何もかもが新しいということなどです。

私たちが初めての女子寮生ということで、きちんとした習慣を付ける必要があります。そうすれば、女子寮のいい伝統になると思うからです。

家族と離れて暮らしてみて、いろんなことであましていたんだなあと思います。

今でも少し不安になったり、他人に迷惑かけたりしますが、5年間、寮生活を楽しもうと思っています。そして、今最も思うことは、寮に入ってよかったですなあということです。

命名由来

新設された女子寮のネーミングを学内に公募したところ56通の応募があった。その中から女子寮にふさわしい名称として「桜」が選ばれた。既設の男子寮がすべて樹木にちなんだ名称であること、また、春に希望に燃えて入学してくる女子学生が、桜のように、晴やかに、明るく、のびのびと育って満開の花を咲かせて欲しいという思いをこめて、「桜棟」と命名された。

□ 新入生オリエンテーション

汗と涙で勝ち取った一冊のノート —

1C 藤野大輔

現在地がわからない。こんな所地図にのってない。どっちを向いても同じような所ばかり。今日中に帰れないかも知れない。いや、永久に帰れないかも知れない。僕らは今、迷っている。なぜこんなことになったのだろうか。話は1時間ほど前にさかのぼる。

「あった。あった。」とヤツが叫ぶ。僕は記録用紙を取り出し50点の所にZの11と書き込んだ。「50点を見つけるまでは昼メシを食べないぞ。」これが当初の目標だった。しかし、今、うれしさのあまり「こうなったらどんどんいいこうぜ。」ということになった。これが間違いの始まりである。勢いにまかせ、僕らは阿蘇の雄大な草原を天馬のごとく駆けぬけていった。

しかし、勢いのあまり、とんでもない所に出てしまった。「ここはどこだ。」「おっ。」「どうした。」「缶がいっぱいあったぞ。」欲望のかたまりとなった僕らは、1本2点の缶達に飛び付いた。それから、ずっと歩き続けた。

やっと道らしき所に出た。親切なおじさんに道をたずねた。もう、すでに地図の外でていた。缶を拾った。牛にならまれた。ずっとずっと歩き続けた。もう袋が限界で、道ばたで拾った段ボール箱に袋を移した。

それからまた、ずっと歩き続けた。そしてついに、店の看板で「阿蘇青年の家前300メートル」というものを見つけた。その看板もウソで、それから1キロぐらいあるいて、僕らはやっと青年の家にたどりついた。

「優勝確実」と予想していたのに「缶をいっぱいあつめたで賞」で、しかもその賞品は1冊のノートだった。



オリエンテーションを終えて —

1A 永松瑞穂

この阿蘇青年の家に来て、3日間を過ごし学んだことがたくさんありました。

まず、部屋に入るとき、私達といっしょに入舎していく八代高専の方があいさつをかけてくれました。初対面の人でもあいさつ一言で心がよえるようになるので、あいさつというものがとても大切なものだということを改めて実感しました。先生、先輩、友達へのあいさつをこれからも心がけていこうと思いました。

また、2日目にあったオリエンテーリングでは班の友達との協力や他の科の人との交友が深められたと思います。きつい時も互いに励まして、最後まで頑張りました。これから5年間、共に高専で学習していく仲間を大切にし、友情を深めていきたいと思いました。

最後に、私が一番守ることのできなかった集団生活のルールですが、たった一人が乱れた行動をとると、まわりの人をまきこみ、多くの人に迷惑をかけてしまいます。私は、集合時間を守れないときがありました。班の人、先輩、先生、宿舎の方に迷惑をかけたと思います。常にまわりの人のことを考え、自分勝手な行動をとらないよう注意したいのです。

明日から学校生活が始まりますが、この3日間で学んだこと、感じたことを忘れず、また私達に大切なことを教えて下さった先輩方、先生方、宿舎の方への感謝の気持ちで、これからも頑張っていこうと思います。

□ 待望の新入生

新入生歓迎遠足 —

学生会長 5M 武下浩紹

4月23日(金)に行われた毎年恒例の新入生歓迎遠足が無事に終了しました。

昨年までは往復20キロ以上の遠足重視のような感じでしたが、今年は歓迎行事重視ということで企画してみました。出発してから到着までそうきつくもないでの、友人同士での会話が楽しかったようでいいことだと思います。

なかには、荒尾三中の前で女子中学生の熱い視線を受け、体いっぱいに喜びを表わす学生もいましたが、これを見て高専は幸せだと穏やかな気持ちになったのは私だけでしょうか。

さて、到着してからですが、学生会企画のイベントがあんなに盛り上がるとは思いませんでした。あれで疲れた学生も多いんではないかと思います。この場を借りて深くお詫びいたします。ごめんなさい。

その後ですが、学科の歓迎会はなかなかいけたんじゃないでしょうか。学科によっては不評だったと言う噂も聞きましたが、今年は何といってもブーメランに始まり変態仮面に終わったような、彼のあの強烈なデビューには、誰もが驚かされたんじゃないかと思います。

1年生から5年生までみんなで笑いあうことなんてなかなかあるもんじゃないです。数少ないそのチャンスを今回はフルに楽しめたんじゃないかと思います。

最近あらためて思いません? 高専に入学して良かったな~って。



寮生球技大会 —

平成5年4月20日(火)本学開校記念日に、晴天のもと寮生球技大会が実施された。校長、主事の挨拶後、出身地別に、ソフトボール、バレーボール、卓球、本年度から女子種目として、ビーチバレーの4種目の競技が行なわれ、福岡Cチームが総合優勝をし、寮生の親睦を深める大会は無事終了した。



春季球技大会 —

体育局長 5M 龍野義栄

5月27日(木)に行われた春季球技大会は心配されていた天気も昼頃には晴れあがり、無事終了いたしました。以下にその主な結果を報告します。

	優勝	準優勝	MVP
ソフト	4A	4M	4A 佐藤誠
バレー	5M	1M	5M 篠原篤史
テニス	教職	3M	3M 高木邦俊
卓球	2A	1M	2A 森和也
女子バレー	3A	5A	3A 宮木理恵

最優秀クラス 5M 優秀クラス 1M

以上の皆さんおめでとうございます。また、当日審判を手伝ってくれた各クラブの皆さん、役員ならびに全学生の皆さんお疲れさまでした。

さて、今回は下級生の活躍が目立ったと思いますが、皆さんいかがだったでしょう。案外、下級生に負けて涙をのんだ上級生も多いはず。下級生の活躍はいろんな盛り上がりをみせるので、これからも頑張って下さい。最後に、当日突然現れた黒い軍団は冬季もヤルといっていました。



新任教職員 Q & A

新任教職員の方々を次のQ1~5で御紹介いたします。

- Q1 本校に来る前、何をされていましたか?
Q2 学生時代に熱中したことは何ですか?

- Q3 本校あるいは本校学生の印象について、聞かせて下さい。
Q4 趣味は何ですか?
Q5 抱負を一言述べて下さい。



名 前 村田和穂
所 属 一般科目 英語
専門分野 English Linguistics
(英語学)

- A1 熊本県のある農業高校と福岡県のある女子短大で英語を教えてました。
A2 大学時代、オーケストラに入っていて、バイオリンを弾いていました。
だから音楽ということになるでしょう。
(しかし、あまり熱中しすぎて、留年した。)
A3 まだよくわからないけど、さわやかな学生が多い
ように思える。
A4 Q2で述べた音楽（いまはもっぱら聴くだけです
けど……）
ジャンルはこだわらない。クラシック、ジャズ、
ロックなんでもO.K.
カラオケでは演歌も歌います。
A5 がんばります。

- たりすることでしょうか。あとは友人たちと遊んでまわったりするくらいですね。
A5 早く高専に慣れ、学生の手本となるような教官を目指します。

名 前 山崎進
所 属 庶務課長

- A1 医科大学で総務及び病院医事業務に従事。
A2 学生時代はサッカーを、特にマラソンには自信がありました。
A3 学生達の「おはようございます。今日は！」の挨拶は、大学と違った明るい校風を感じられます。
A4 釣り、ツーリング
A5 「先輩は親であり兄さん姉さんであること。後輩は弟であり妹であり又、自分の子供であること。」この気持を忘れず、楽しい職場を心掛けて行きたくと思っております。



名 前 松野良信
所 属 電子情報工学科
専門分野 情報通信

- A1 学生です。佐賀大学大学院工学系研究科の博士前期課程で、統合通信網（B-ISDN）用の交換機の研究をしていました。
A2 広い意味で人との交流に力をそいでいました。
(別にひたすら遊んでいたわけではありません。)
A3 明るく素直で活発的に感じます。学校全体が若々しく、私の学生時代とは比較になりません。（あたりまえという話も……）
A4 強いてあげるならば、ビデオを見たりCDを聴い



<p>第80号</p> <p>有明高専だより</p> <p>平成5年6月15日 (7)</p>	<p>第80号</p> <p>有明高専だより</p> <p>平成5年6月15日</p>
	<p>名 前 荒巻青児 所 属 庶務課人事係</p> <p>高専への転任を大きな節目として、また一から勉強するつもりで努力したいと考えていますので、よろしくお願いします。</p>
	<p>名 前 深町眞実 所 属 電気工学科 文部技官</p>
	<p>名 前 井上智太 所 属 会計課総務係</p> <p>A1 学生（八女工業高等学校） A2 弓道 A3 明るく活発、桜と藤とつづじがきれい!! A4 音楽鑑賞 A5 はやく学校に慣れ、仕事も覚えてがんばりたいと思います。</p>
	<p>名 前 大渕智子 所 属 電気工学科 事務補佐員</p> <p>A1 高校を卒業して、NEC九州で1年9ヶ月間働いていました。 A2 高校の時は、女であることを忘れるほど剣道に打ち込んでいました。 A3 先生のことですが、見た目とのギャップに、いつもビックリさせられます。 A4 ドライブ バイクの免許も欲しいです。 A5 いろいろな事にチャレンジして、魅力のある女性（人間）になりたいですね。</p>
	<p>平成4年4月に着任。本校の管理・運営に携わって約1カ月。ようやく様子がわかりかけた頃。素直な気持で記した日記の1ページ。新入職員の方々の参考になればと抜粋。</p> <p>某月某日 学校の運営は、校長一人でするものではなく、全員が校長という意識をもって、積極的に運営に参加するものである。</p> <p>平等に責任を分担し、それに対して互に補完し合うものである。</p> <p>一人一人の知恵を結集させて、創造的な運営を展開するものである。</p> <p>某月某日 我々は知らず知らずのうちに、自分たちの生き方に枠をはめてしまっていないだろうか。</p> <p>人生に教科書があるって、それをいかにうまくなぞっていくかということが、いつの間にか当たり前になってしまっていないだろうか。</p> <p>無限の可能性に目を向けることを、一つの間にかやめてしまっていないだろうか。</p> <p>事務部長 須賀敏夫</p>

特集 Farewell, Graduates !

第26回 卒業式告辞

本日ここに九州大学工学部長、後援会会长、同窓会会长はじめ多数のご来賓、ご家族の皆様、教職員並びに在校生代表の列席のもと、有明工業高等専門学校第26回卒業証書授与式を行い、明日の技術を担う157名の若人を産業界、官界及び大学に送り出すことは、本校にとり最大の慶びであります。

萩尾台での5年にわたる螢雪の功成り、晴れて卒業の栄誉を手にされた卒業生諸君おめでとう。そしてご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

技術者を志して本校に入学した頃にはまだ初々しい少年少女だった諸君が、このように心身共に立派に成長し、実践力のある技術者としてそれぞれの道に進むことができたのは、諸君自身のたゆまぬ研鑽によるることはもちろんですが、教育にクラブ活動に、あるいは寮生活にと諸君をご指導下さった教職員の皆さんのお意と、いつも諸君を温かく見守って下さったご家族の方々の御支援があつたればこそということを深く心に銘記してほしいと思います。

卒業とは、よく言われるよう、これまでの世界と決別し、新しい人生が始まることを意味します。諸君はいま、技術者という新しい人生に向けて、全員が同じスタートラインに立って走り出そうとしていますが、いま諸君が頼れるのは、自分の中に蓄積してきた知識と、育ててきた思考力と判断力、そして体力だけです。

しかも、諸君がこれから挑戦しようとする実際の技術的課題の多くは、学校の試験と違って答があるのかさえもわかりません。まして仕事の中味も様々で、自分の希望していたことと違う場合もあるかと思います。

しかし、何がどうあれ、諸君のなすべきことは、当面与えられた仕事に全力で取組むことです。これまで身につけて来た知識を実際問題にどう応用するか自分で考え、実行してゆくしかありません。もちろん、多くの場合足りない知識を自力で補う努力も必要でしょう。そうすれば、やがてその仕事の中に諸君の知的探求心をそそる技術的問題が必ず見つかり、次第にその仕事に魅力を覚えて、そこに絶対人に負けないと自負しうる自分の技術領域を築き上げることができるでしょう。その道は平坦ではないと思いますが、途中で困難に直面したときには、本校での厳しい勉学や卒業研究、あるいは部活動の練習や試合に耐えてきたという自信が、必ず諸君の力になる



と信じます。

ただ、近年の急速な技術の進歩に象徴されるように、技術は本質的に絶えず変容と変革を続ける宿命を負っています。今日先端だった技術もすぐに陳腐化します。築き上げたはずの自分の技術領域も、リフレッシュする努力を怠るとすぐに役立たなくなります。人間一生が勉強と心に定め、絶えず自己啓発に努め、次は何をなすべきかを常に考える習慣を身につけて下さい。それこそが技術革新の原動力です。

我が国工業界の現在の課題は、工業の文化としての国際化と、創造的技術力の強化でしょう。国際社会の主要な一員として我が国の工業が世界のために何ができるのか、この間に對して工業界全体が技術者の一人一人に至るまで、いつも自分の中で答を追及する姿勢が必要です。工業もまた自国の伝統を受け継ぎながら、異文化との共生の道を探して行かねばならないのです。

一方、創造的技術力の強化の必要性はいまさら申すまでもないことですが、一言づけ加えておくとすれば、創造的な仕事とはいわゆる先端技術だけを指すのではなく、ハードとソフト、先端技術分野と在来技術分野とを問わず、新しい何かを創り出すすべての仕事を指すのだということをしっかり認識してほしいということでしょう。

いまや地球上の人口は五十億を突破し、十数年に十億という速さで増加しており、百億に達するのもそう遠い日ではありません。この増え続ける人類を支えることができる技術だけです。今後卒業生諸君が技術を職とすることに自負と自覚を持ち、豊かな教養と広い視野、そして高い識見を備えた技術者として未知に挑戦し、人類の未来のために貢献されることを心から祈って告辭いたします。

平成5年3月18日
有明工業高等専門学校
高松 康生

K 卒業生へ 在校生へ

平成5年度 卒業式送辞

厳しかった冬もようやく終わりを告げ、また今年も、桜の花びらの舞う、暖かい、始まりの季節となりました。

社会人として、門出の春を迎えられた5年生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。

振り返れば、私たちが先輩方に初めてお会いしたのも、この季節でした。兄のように、姉のように、親身になって高専生活がどういうものか、また、どうしたらいいのかを教えてくださった先輩方、今までありがとうございました。

先輩方が、有明高専の門をくぐられたのは16歳の春。

新入生阿蘇研修にて、これから5年間、苦楽を共にする友達を見つかり、この有明高専での生活に、夢、希望を持たれたことだと思います。

上級生の団結力のすごさに驚かされた春季球技大会。クラス団結に目覚められたことだと思います。

大迫力の高専大会。上級生の精一杯のプレーに感動を覚えられたことでしょう。そして秋、高専生活最大のイベントである体育祭。萩尾の地が揺れるくらいの本気と本気の激突。深く感動し、有明高専の本当の姿を知られましたことだと思います。

高専の実体を知り、一致団結の精神で臨んだ冬季球技大会。上級生の壁の厚さに再び驚き、反省と努力することを覚えられたんじゃないでしょうか。

これから社会人の新入生として、より厳しい環境に立たれるわけですが、この青春時代を過ごした有明高専で学ばれたことを生かして、そして、萩尾の地より、応援している後輩の姿を思い浮かべて頑張ってください。

ご卒業、おめでとうございます。

平成5年3月18日

有明工業高等専門学校
在校生代表 学生会長 武下 浩紹



答 辞

今私達は無事に卒業式を迎える、この有明高専を去ろうとしています。早いもので、15才の春、私達が初めて有明高専の門をくぐってから5年の月日が流れました。この5年間で私達は、多くの素晴らしい先生方、友人に恵まれ、日々充実した学生生活を送ることができました。これから私達は、就職、進学とそれぞれ違う道へと進んでいくわけですが、この有明高専で学んだことは将来、必ず何らかの形で役に立つことと確信しています。

今、社会に巣立って行く者として、これから21世紀に向かって大きく変動して行く社会の中で、私達はどれほどの力を發揮できるのか、その胸中は期待と不安が入り交じった複雑な心境です。しかし、いかなる場合も向上心を忘れず、目標を高く掲げて頑張って行きたいと思います。

これからは、今までの学生生活とは違い、社会に対して自分自身の言動に責任が課されます。そして私達一人一人が自分自身の信念のもとに、今までの先輩、教職員の方々をはじめとする多くの方たちの多大なる努力によって築かれてきた有明高専の名に恥じないよう、より一層の努力をしなければなりません。そして21世紀の日本をリードできるような技術者となり、少しでも社会に貢献して行きたいと思います。

最後に、これまで私達をご指導下さった教職員の方々、何かと私達を支えてくれた在校生の皆さん、そして暖かく見守ってくれた両親に深く感謝したいと思います。私達はこの学校を去りますが、在校生の皆さんには、自ら学び自ら考えることの大切さを忘れず、勉強にスポーツに頑張ってほしいと思います。

平成5年3月18日

有明工業高等専門学校
卒業生代表 五年建築学科 雪野智行



Q & A

今年3月31日付けで退官された3名の先生方から、
次の3つの質問に答えていただきました。

Q1 高専でもっとも思い出に残ることは何でしょ

うか？

Q2 高専あるいは学生に何を望れますか？

Q3 最後に今後のことについて一言。

熟すべし、老ゆるべからず

須藤修一（電気工学科）

A1 私は本校に13年勤務し、その半分の期間学科主任または学生主事をさせていただきました。そのため印象深い出来ごとといえば、学科主任として学校運営についていろいろな方と議論したことや、学生主事として学生の事故死の処理や、処分に心を痛めることにどうしても集中しており、ここに紹介するにはばかりものばかりです。

以下は中ぐらいの想い出ですが……。以前勤めていた会社の技術開発センターが完成したのを機会に昭和62年2月10日、電気科の教職員9名が北九州まで見学に出かけました。内実は、見学もさることながら何人かの卒業生をひっぱり出して、社員クラブの定評あるフク料理を食べようという魂胆がありました。見学も無事終了して、いよいよ会食という段取りになったとき、来るわ来るわ親会社はもちろん関連会社に就職した人、さらにはM科の卒業生まで加わって30人位集ってくれて、ものすごく盛上りました。私はすっかり酩酊てしまい、肝心のフクは果して食したのやらどうやら、さっぱり分らなくなってしまいました。2次会の高級クラブで、始めて「天城越え」（石川さゆり）を唄ったところ、意外にうまくいったとみえ面目を施しました。荒木三知夫先生が「学科始まって以来の快挙である」といって下さったの

も嬉しい想い出であります。
A2 (1) 高専に対する希望：
以下は高専というより国の行政機関全体についていえることですが、もう少し民間企業の競争のきびしさと行動の早さを見習って欲しいと思います。

(2) 学生諸君に：体育館でお話ししたとおり、志を高く掲げつねに前進して欲しいと思います。今の若者のチマチマとしていて、天下国家・人類・人生などを論じ憂う氣概が少ないように感じます。言葉や学資というハンディをもちらん頑張っている本校の留学生の生き方を見習って欲しいですね。

A3 昨年秋、心臓をやられ昔のような元気はありません。有明高専と九州帝京短大の非常勤講師をしながら、ここ大牟田を終の栖（スミカ）と定め、妻と二人、余生を過して行く予定です。それでも「熟すべし、老ゆるべからず」（森繁久弥）という心掛けだけは忘れないつもりですがね。

最後に、高専のますますのご発展と皆様方のご多幸を心よりお祈りいたします。



楽しかった寮の学生風呂

木佐木尚（工業化学科）

A1 “最も”と言われると困るが、良い方からゆくならば、学生も教職員も、大へん明るいということでしょう。貴重な環境を考えます。一部の制約は、集団である以上、当然のこと、野放し状態は決して明るくないからです。もう一つは、寮の学生風呂、宿直の夜は大へん世話になりました。

わるい方は、学生の欲の無さ、はっきり言えば不勉強でした。無邪気といって喜べる年頃は過ぎている、と思いますので、次項でのべます。

A2 高専は「技術者になる、又はつくる」ところであって、学者のそれではない、とわりきってよいのではないかと思います。大学などと考えるより、技術者の備えるべき項目の基礎と方向をあたえ、かつ受取らせることに徹すべきではないかと考えます。技術者ということになると、学者よりは要求される頻度



の多い、判断、決断、説得、接渉などの訓練機会を大事にし、さらにつくってやることが大事ではないでしょうか。そういう意味で、演習、掃除、課外活動など、自分でする方がずっとラクでしょうが、そこはゲットガマン、で駆けてくださるようお願いしたいと思います。とにかく、学識・勤勉・積極性などの項目は、まだ社会に生きていると思うからです。

A3 “今後のこと”の質問に、一瞬、公私どちら？と思って苦笑しました。公があるはずないからです。しかし、公ではないが、我等の先輩や我等世代は、気づかぬうちに、世界に対してヤリ過ぎたのではないか。そう

とすれば、いずれ後輩達にシリぬぐいを頼まねばならぬ、今後は小さくなっていることだという想いがあります。私事の方ですが、悠々自適は困るんです。生活の方ではなく、悟りが開けていないからです。ありがたいことに、2ヶ所の非常勤講師の御縁ができ、若い人に接する機会が残されました。一方、山歩き（遊び）も楽しんでいます。一人でも多人数でもよいところが気に入っています。さらにその後は、となると、生を終える時であります。これが未定。素直に応ぜられるようにしておきたいと思っております。

松尾保男（一般科目）

学校は勉強するところ



A1 昭和49年8月、有明高専主催で「E³日本セミナー」が行なわれました。我が国のが工学教育、とりわけ高専の工学教育が制度発足以来10年余経過し、基礎固めができた段階で、時代の要求に即応するため、より効果的な教育方法を導入する必要に迫られていました。その目的を達成するため、有明高専では、学生がものを作るのに問題解決を通して直接経験するほうが、教室での理論の学習がものを作る技術の習得と有機的に結びつくばかりでなく、相乗効果もあるという見地から、課題解決学習法を採用するよう決定していました。ちょうどそのころ、経験主義教育法の現代版を工学教育で実施中の米国イリノイ工大のトーダ博士夫妻の来日が予定されていたので、夫妻を招き、日米合同の工学教育学会「E³日本セミナー」が実現しました。その学会で通訳を務めましたが、学会開催準備と、終了後、学会で明らかになつた問題点の解明などで約1年半にわたる仕事でした。激務でしたが、一番やり甲斐のある仕事でした。（詳しくは有明高専紀要12号と13号をお読み下さい。）

セミナーが無事終り、お別れの昼食の席でトーダ博士から、米国政府の費用でイリノイ工大への留学の招きを受け、結局文部省在外研究員として1年間留学しました。

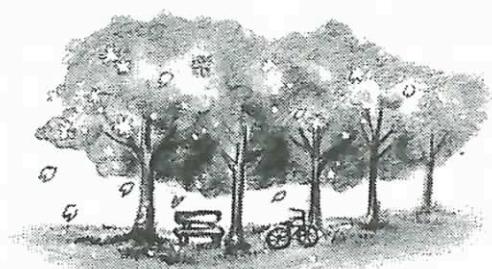
イリノイ工大では客員教授として迎えてくれましたので、工大の先生の一員なのです。所属した教室E³Programの学生は全部で20人ぐらいでした。学生は講義はほとんどなく、そのかわり、工学上の問題解決プロジェクトのチームを組み、プロジェクトを遂行するのに必要な知識を指定された研究書で自分達で研究し、試験に合格したらプロジェクトに参加するのを許可され、卒業に必要な単位を修得していました。驚くなれば、試験は80

点以上が合格です。合格するまでやり直しです。

学生達から要求があり、私もゼミを担当することになりました。「日本現代文学」が私のゼミです。三島由紀夫の英訳本をテキストにしました。先生達からもファカルティ・セミナー（先生達を対象にしたゼミ）の要求がありましたので毎週夕方1回行ないましたが、準備が大変でした。大学巡りの北米横断バス旅行も忘れない想い出です。

A2 学校では勉強するだけではありませんが、学校は勉強するところです。私には過去10年ぐらいは高専はなまけものの天国に見えていました。もっともっと勉強を。

A3 每朝8時までに4科目やっています。6時過ぎからのジョギングは体育。それからラジオ講座で外国語を3科目。昼間と夜はそれを基礎に読書。ほかは庭で土いじり。近くの川に魚釣りにも行きます。今後も続けるつもりでいます。





卒業生の進路・表彰

機械工学科

氏名	就職先
石茨内江姥太甲斐川川北上品柴島進角高高武玉徳富富富中中長永野林松松松松三宮山山吉吉渡	(株)アマダメトレックス 川崎重工(株) 長岡技術科学大学(進学) トステム大牟田(株) 三菱電気九州コンピュータシステム(株) 九州三菱電機プラントサービス(株) 三菱重工業(株)広島製作所 (株)日立ビジネス機器 石川島輸送機(株) 九州東芝機械(株) 三井東圧化学(株) NECソフトウェア(株) マツダ(株) 日鐵プラント設計(株) 日産自動車(株) 久留米工業高等専門学校専攻科(進学) ブリヂストンフローテック(株) 村田機械(株) (株)日立物流 (株)豊田自動織機製作所 合志技研工業(株) 九州旅客鉄道(株) 旭化成工業(株) 日之出鉄工(株) (株)安川ロジステック 出光興産(株) 三菱重工業(株)長崎造船所 豊橋技術科学大学(進学) 大分大学(進学) 新日本空調(株) 佐賀大学(進学) (株)三井三池製作所 日立精機(株) (株)安川電機 旭精機工業(株) (株)高田工業所 東芝機械(株) 三菱自動車工業(株) 九州不二サッシ(株) 九州松下電器(株) 三菱化成エンジニアリング(株) 旭計器工業(株) 西研グラフィックス(株)
橋木田口子河黒田野原原瀧川田藤江橋田崎永重安吉島村沼渕口尾尾岡田本浦原口本開山部	信宏知隆隆文潔悦大正幸秀俊清大朋真將秀徹敏公昌和和慶光博直康健正和貴和
也峰洋二志護剛志史介揮純崇治之喜隆暢視一智直司利也隆孝紀彦広久介泰典幸男司剛剛也徳満雄	(株)アマダメトレックス 川崎重工(株) 長岡技術科学大学(進学) トステム大牟田(株) 三菱電気九州コンピュータシステム(株) 九州三菱電機プラントサービス(株) 三菱重工業(株)広島製作所 (株)日立ビジネス機器 石川島輸送機(株) 九州東芝機械(株) 三井東圧化学(株) NECソフトウェア(株) マツダ(株) 日鐵プラント設計(株) 日産自動車(株) 久留米工業高等専門学校専攻科(進学) ブリヂストンフローテック(株) 村田機械(株) (株)日立物流 (株)豊田自動織機製作所 合志技研工業(株) 九州旅客鉄道(株) 旭化成工業(株) 日之出鉄工(株) (株)安川ロジステック 出光興産(株) 三菱重工業(株)長崎造船所 豊橋技術科学大学(進学) 大分大学(進学) 新日本空調(株) 佐賀大学(進学) (株)三井三池製作所 日立精機(株) (株)安川電機 旭精機工業(株) (株)高田工業所 東芝機械(株) 三菱自動車工業(株) 九州不二サッシ(株) 九州松下電器(株) 三菱化成エンジニアリング(株) 旭計器工業(株) 西研グラフィックス(株)
也峰洋二志護剛志史介挥純崇治之喜隆暢視一智直司利也隆孝紀彦広久介泰典幸男司剛剛也徳満雄	(株)アマダメトレックス 川崎重工(株) 長岡技術科学大学(進学) トステム大牟田(株) 三菱電気九州コンピュータシステム(株) 九州三菱電機プラントサービス(株) 三菱重工業(株)広島製作所 (株)日立ビジネス機器 石川島輸送機(株) 九州東芝機械(株) 三井東圧化学(株) NECソフトウェア(株) マツダ(株) 日鐵プラント設計(株) 日産自動車(株) 久留米工業高等専門学校専攻科(進学) ブリヂストンフローテック(株) 村田機械(株) (株)日立物流 (株)豊田自動織機製作所 合志技研工業(株) 九州旅客鉄道(株) 旭化成工業(株) 日之出鉄工(株) (株)安川ロジステック 出光興産(株) 三菱重工業(株)長崎造船所 豊橋技術科学大学(進学) 大分大学(進学) 新日本空調(株) 佐賀大学(進学) (株)三井三池製作所 日立精機(株) (株)安川電機 旭精機工業(株) (株)高田工業所 東芝機械(株) 三菱自動車工業(株) 九州不二サッシ(株) 九州松下電器(株) 三菱化成エンジニアリング(株) 旭計器工業(株) 西研グラフィックス(株)

◎ 5年間精勤者（6名）

学科	氏名			
M	進藤	俊	喜直典	
	徳永	岡	博	
	松			
E	猿田	渡上	和立	睦也
	塙	本	正	彦

◎ 1年間皆勤者（15名）

学科	氏名				学科	氏名			
M	進	藤	俊	喜	E	塚	本	正	彥
	徳	永	直	直		前	川	雄	一
	長	沼	公	紀		丸	山	圭	二
	松	岡	博	典	C	上	藤	史	子
E	井	原	涉	敏		古	賀	廣	広
	坂	上	好	武		廣	井	井	志
	猿	渡	睦	慎	A	米	田	田	司
	田	七	立	也					

電気工学科

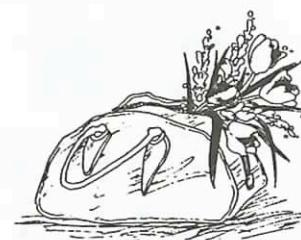
氏名	就職先
井上	旭化成工業(株)
井岩	富士通テン(株)
浦江	九州松下電器(株)
浦緒川	九州電力(株)
浦清川	(株)BCC
浦近坂	大日本スクリーン製造(株)
猿芝瀬	(株)三井ハイテック
岸平	ユニチカ(株)
田代	松下電工(株)
田上	安川プラントエンジニアリング(株)
田中	ソニー(株)
藤村	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
藤江	九州セルラー電話(株)
藤緒川	ニシム電子工業(株)
藤清川	西部ガス(株)
坂正	住友化学工業(株)
坂也	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
坂祐	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
坂祐	安川情報システム(株)
坂祐	三菱化成(株)
坂祐	住友電設(株)
坂祐	三菱電機(株)
坂祐	平田機工(株)
坂祐	豊橋技術科学大学 (進学)
坂祐	富士通(株)
坂祐	サン情報サービス(株)
坂祐	長岡技術科学大学 (進学)
坂祐	横河ジョンソンコントロールズ(株)
坂祐	日本電気計器検定所
坂祐	キリンビール(株)
坂祐	日本電気エンジニアリング(株)
坂祐	日本電気(株)
坂祐	(株)安川電機
坂祐	西部電機(株)
坂祐	(株)九電工
大志	旭化成工業(株)
大志	富士通テン(株)
大幸	九州松下電器(株)
大幸	九州電力(株)
大弘	(株)BCC
大弘	大日本スクリーン製造(株)
大弘	(株)三井ハイテック
大弘	ユニチカ(株)
大弘	松下電工(株)
大弘	安川プラントエンジニアリング(株)
大弘	ソニー(株)
大弘	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
大弘	九州セルラー電話(株)
大弘	ニシム電子工業(株)
大弘	西部ガス(株)
大祐	住友化学工業(株)
大祐	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
大祐	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
大祐	安川情報システム(株)
大祐	三菱化成(株)
大祐	住友電設(株)
大祐	三菱電機(株)
大祐	平田機工(株)
大祐	豊橋技術科学大学 (進学)
大祐	富士通(株)
大祐	サン情報サービス(株)
大祐	長岡技術科学大学 (進学)
大祐	横河ジョンソンコントロールズ(株)
大祐	日本電気計器検定所
大祐	キリンビール(株)
大祐	日本電気エンジニアリング(株)
大祐	日本電気(株)
大祐	(株)安川電機
大祐	西部電機(株)
大祐	(株)九電工
英志	旭化成工業(株)
英志	富士通テン(株)
昌幸	九州松下電器(株)
昌幸	九州電力(株)
徹弘	(株)BCC
徹弘	大日本スクリーン製造(株)
徹弘	(株)三井ハイテック
徹弘	ユニチカ(株)
徹弘	松下電工(株)
徹弘	安川プラントエンジニアリング(株)
徹弘	ソニー(株)
徹弘	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
徹弘	九州セルラー電話(株)
徹弘	ニシム電子工業(株)
徹弘	西部ガス(株)
英幸	住友化学工業(株)
英幸	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
英幸	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
英幸	安川情報システム(株)
英幸	三菱化成(株)
英幸	住友電設(株)
英幸	三菱電機(株)
英幸	平田機工(株)
英幸	豊橋技術科学大学 (進学)
英幸	富士通(株)
英幸	サン情報サービス(株)
英幸	長岡技術科学大学 (進学)
英幸	横河ジョンソンコントロールズ(株)
英幸	日本電気計器検定所
英幸	キリンビール(株)
英幸	日本電気エンジニアリング(株)
英幸	日本電気(株)
英幸	(株)安川電機
英幸	西部電機(株)
英幸	(株)九電工
昌志	旭化成工業(株)
昌志	富士通テン(株)
昌志	九州松下電器(株)
昌志	九州電力(株)
昌弘	(株)BCC
昌弘	大日本スクリーン製造(株)
昌弘	(株)三井ハイテック
昌弘	ユニチカ(株)
昌弘	松下電工(株)
昌弘	安川プラントエンジニアリング(株)
昌弘	ソニー(株)
昌弘	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
昌弘	九州セルラー電話(株)
昌弘	ニシム電子工業(株)
昌弘	西部ガス(株)
英也	住友化学工業(株)
英也	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
英也	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
英也	安川情報システム(株)
英也	三菱化成(株)
英也	住友電設(株)
英也	三菱電機(株)
英也	平田機工(株)
英也	豊橋技術科学大学 (進学)
英也	富士通(株)
英也	サン情報サービス(株)
英也	長岡技術科学大学 (進学)
英也	横河ジョンソンコントロールズ(株)
英也	日本電気計器検定所
英也	キリンビール(株)
英也	日本電気エンジニアリング(株)
英也	日本電気(株)
英也	(株)安川電機
英也	西部電機(株)
英也	(株)九電工
彰司	旭化成工業(株)
彰司	富士通テン(株)
彰司	九州松下電器(株)
彰司	九州電力(株)
彰司	(株)BCC
彰司	大日本スクリーン製造(株)
彰司	(株)三井ハイテック
彰司	ユニチカ(株)
彰司	松下電工(株)
彰司	安川プラントエンジニアリング(株)
彰司	ソニー(株)
彰司	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
彰司	九州セルラー電話(株)
彰司	ニシム電子工業(株)
彰司	西部ガス(株)
城好	住友化学工業(株)
城好	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
城好	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
城好	安川情報システム(株)
城好	三菱化成(株)
城好	住友電設(株)
城好	三菱電機(株)
城好	平田機工(株)
城好	豊橋技術科学大学 (進学)
城好	富士通(株)
城好	サン情報サービス(株)
城好	長岡技術科学大学 (進学)
城好	横河ジョンソンコントロールズ(株)
城好	日本電気計器検定所
城好	キリンビール(株)
城好	日本電気エンジニアリング(株)
城好	日本電気(株)
城好	(株)安川電機
城好	西部電機(株)
城好	(株)九電工
睦実	旭化成工業(株)
睦実	富士通テン(株)
睦実	九州松下電器(株)
睦実	九州電力(株)
睦実	(株)BCC
睦実	大日本スクリーン製造(株)
睦実	(株)三井ハイテック
睦実	ユニチカ(株)
睦実	松下電工(株)
睦実	安川プラントエンジニアリング(株)
睦実	ソニー(株)
睦実	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
睦実	九州セルラー電話(株)
睦実	ニシム電子工業(株)
睦実	西部ガス(株)
孝和	住友化学工業(株)
孝和	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
孝和	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
孝和	安川情報システム(株)
孝和	三菱化成(株)
孝和	住友電設(株)
孝和	三菱電機(株)
孝和	平田機工(株)
孝和	豊橋技術科学大学 (進学)
孝和	富士通(株)
孝和	サン情報サービス(株)
孝和	長岡技術科学大学 (進学)
孝和	横河ジョンソンコントロールズ(株)
孝和	日本電気計器検定所
孝和	キリンビール(株)
孝和	日本電気エンジニアリング(株)
孝和	日本電気(株)
孝和	(株)安川電機
孝和	西部電機(株)
孝和	(株)九電工
正一	旭化成工業(株)
正一	富士通テン(株)
正一	九州松下電器(株)
正一	九州電力(株)
正一	(株)BCC
正一	大日本スクリーン製造(株)
正一	(株)三井ハイテック
正一	ユニチカ(株)
正一	松下電工(株)
正一	安川プラントエンジニアリング(株)
正一	ソニー(株)
正一	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
正一	九州セルラー電話(株)
正一	ニシム電子工業(株)
正一	西部ガス(株)
立正	住友化学工業(株)
立正	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
立正	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
立正	安川情報システム(株)
立正	三菱化成(株)
立正	住友電設(株)
立正	三菱電機(株)
立正	平田機工(株)
立正	豊橋技術科学大学 (進学)
立正	富士通(株)
立正	サン情報サービス(株)
立正	長岡技術科学大学 (進学)
立正	横河ジョンソンコントロールズ(株)
立正	日本電気計器検定所
立正	キリンビール(株)
立正	日本電気エンジニアリング(株)
立正	日本電気(株)
立正	(株)安川電機
立正	西部電機(株)
立正	(株)九電工
孝宗	旭化成工業(株)
孝宗	富士通テン(株)
孝宗	九州松下電器(株)
孝宗	九州電力(株)
孝宗	(株)BCC
孝宗	大日本スクリーン製造(株)
孝宗	(株)三井ハイテック
孝宗	ユニチカ(株)
孝宗	松下電工(株)
孝宗	安川プラントエンジニアリング(株)
孝宗	ソニー(株)
孝宗	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
孝宗	九州セルラー電話(株)
孝宗	ニシム電子工業(株)
孝宗	西部ガス(株)
純一	住友化学工業(株)
純一	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
純一	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
純一	安川情報システム(株)
純一	三菱化成(株)
純一	住友電設(株)
純一	三菱電機(株)
純一	平田機工(株)
純一	豊橋技術科学大学 (進学)
純一	富士通(株)
純一	サン情報サービス(株)
純一	長岡技術科学大学 (進学)
純一	横河ジョンソンコントロールズ(株)
純一	日本電気計器検定所
純一	キリンビール(株)
純一	日本電気エンジニアリング(株)
純一	日本電気(株)
純一	(株)安川電機
純一	西部電機(株)
純一	(株)九電工
浩一	旭化成工業(株)
浩一	富士通テン(株)
浩一	九州松下電器(株)
浩一	九州電力(株)
浩一	(株)BCC
浩一	大日本スクリーン製造(株)
浩一	(株)三井ハイテック
浩一	ユニチカ(株)
浩一	松下電工(株)
浩一	安川プラントエンジニアリング(株)
浩一	ソニー(株)
浩一	日立ソフトウエアエンジニアリング(株)
浩一	九州セルラー電話(株)
浩一	ニシム電子工業(株)
浩一	西部ガス(株)
一	住友化学工業(株)
一	九州東芝テクノネットワーク(株) (研修生)
一	三菱電機九州コンピュータシステム(株)
一	安川情報システム(株)
一	三菱化成(株)
一	住友電設(株)
一	三菱電機(株)
一	平田機工(株)
一	豊橋技術科学大学 (進学)
一	富士通(株)
一	サン情報サービス(株)
一	長岡技術科学大学 (進学)
一	横河ジョンソンコントロールズ(株)
一	日本電気計器検定所
一	キリンビール(株)
一	日本電気エンジニアリング(株)
一	日本電気(株)
一	(株)安川電機
一	西部電機(株)
一	(株)九電工
一	澄源
一	雄圭
一	昭篤
一	知

◎ 5年間精勤者（18名）

学科	氏名	学科	氏名
M	品川	崇一	橋本誠
	武田	紀彦	前雄
E	長沼	真史	圭山
	永潤	公賀	上子
C	松本	昌賀	敏廣
		彦兒	玉志
A	井上	大貴	中吉
	清田	賢吉	村明
E	瀬口	司正	中晴
	徳宗	治	廣志

◎ 1年間精勤者（10名）

学科	氏名	学科	氏名
M	内川山	E	近藤永橋
	田野本		田本也
	知悦和		栗村宗也
	洋史也		鐘宗也
E	井清	A	田中靖子
	上田		中村吉晴
	大賢		栗子晴
	志司		村吉晴



◎成績優秀者

学科	氏名			
M	進藤俊喜			
E	丸山圭二			
C	上藤史子			
A	雪野智行			

工業化学科

氏名	就職先
秋石橋橋橋井今植内浦江大久大鐘上神木倉古兒坂坂土中西西葉日平廣福福藤前松馬森矢山	(株)三井ハイテック (株)日本電気アイシーマイコンシステム 出光興産(株) ハウス食品工業(株) 矢崎総業(株) 九州工業大学(進学) 佐賀大学(進学) 福岡東陶(株) 日本酸素(株) 電気化学計器(株) テンサン(株) (株)九州ノゲデン (株)九州ノゲデン (株)九州ノゲデン 東京農工大学(進学) 日信工業(株) 辻料理師専門学校 九州不二サッシ(株) (株)I N A X ユニチカ(株) 大日精化工業(株) トステム大牟田(株) (株)シマノ ユニチカ(株) アルパック九州(株) 福岡県立美容学校 豊橋技術科学大学(進学) 三洋化成工業(株) 福岡酸素(株) 三共(株) 住友金属工業(株) 出光興産(株) 福岡クロス工業(株) 日本合成ゴム(株) 住友化学工業(株) 日光化成(株) 岩谷瓦斯(株) 長岡技術科学大学(進学) 旭化成工業(株) チッソ(株)

建筑学科

氏名	就職先
石井達哉	三井ホームエンジニアリング横浜(株)
上井貴明	熊本大学(進学)
上田修一	三菱重工業(株)長崎造船所
内田成一	西松建設(株)
江口裕也	戸田建設(株)
緒方伸一	(株)西沢工務店
柿原千佳	(株)新井組
柿鎌章一	東洋建設(株)
北原健一	大成建設(株)
小原優一	大分大学(進学)
斎宮理子	新日本製鐵(株)
境坂志鈴	佐藤工業(株)
坂本政子	西松建設(株)
佐末陽和	ユニチカ(株)
杉本吉政	東京ガス(株)
田辺和政	(株)新井組
田辺剛宏	東海興業(株)
辻口栗子	三井ホーム(株)
中村陽佳	五洋建設(株)
中村秀樹	松尾建設(株)
永田晴男	九州旅客鉄道(株)
廣田志一	三井建設(株)
藤井昭志	清水建設(株)
藤岡祐一	日本鉄道建設公団
藤崎祐敏	(株)鴻池組
藤増成一	豊橋技術科学大学(進学)
待田昌一	上村建設(株)
松鳥千津	上村建設(株)
松永真紀	木蓋建設(株)
松本展之	大阪芸術大学(進学)
毛利陸播	前田建設工業(株)
安川健治	(株)松村組
矢山純子	殖産住宅相互(株)
山本田之	九州旅客鉄道(株)
雪野智子	九州大学(進学)
横吉誠行	新日本製鐵(株)
吉田広司	西部ガス(株)
米田也	日本電信電話(株)
渡辺慎也	(株)ハザマ

学生表彰（1年間皆勤・精勤者）

◎ 1年間皆勤者（185名）

学科	氏名	学科	氏名	学科	氏名
1 M	加来明徳	入澤記寛	渋谷信一	石坂亮二	松本典子
	正口喜夫	大坪寛子	田畠浩三	森志介	井良成
	渡将智宏	木平善洋	磯柿了介	中戸憲	憲繼
	富聰	木尾洋健	原伸治	藤宮憲	純靖
	中智	本保小百合	奥島剛也	岡井剛	靖剛
	花秀	久熊倉	島勇也	浦川強	志晃
	中幸	村彰	江島彰	大佐坂正	治治
	花健	見古近	尾川浩司	坂本高	弘治
	中太郎	花佐佐木	千活理	田中司	雄正
	誠治	鶴哲	英衣	田雅正	輝正
1 E	池加隆洋	松藤岩真	西濱洋	大猿只	浦副大
	川川宣	村村義美	濱永口	堤中	島竹別
	黒齊清	岩若将	智光口	林田	本島別
	長良智	神谷方	永足口	林田	府雅
	山横	清長本	永中足	坂藏	大彰
	石原友	大本	中足	中山	彰寬
	内山泰	岩本	足永	島田	聖
	浦緒正	水友	口口	田中	カウティヴォ
	古方間	古公	田田	田中	オ
	古津鶴	古志	田田	田中	スカンダル
1 I	石原千穂	古賀章	西田尾	飯塚宏	古賀宮
	内山正裕	賀信	本田本	辰樹之	子之舟
	浦緒千穂	田信	田英	由崇	恵淳
	古古津	田滿	和恭	隆子	鉄和
	古鶴中	田健	和恭	隆子	沙織
	古田中	田竜	史和	明吾	理子
	古田中	田輔	久和	吾郎	イ
	古田中	橋多	久久	恒美	スカンダル
	古田中	萩橋	久久	悟	オ
	古田中	東	弘史	長之	ア
1 C	有田田	菊次野	岡小佐	上清	今國
	北城小	野原	坂多	小合	原武
	坂重古	原原	萩道	安安	原田
	坂古	増松	元安	安武	田田
	坂行	松松	金安	安武	田田
	坂古	吉吉	岡志	清小	田田
	坂行	正博	志篠	合志	田田
	坂古	友弓	東溝	志篠	田田
	坂行	弓敬	米	志篠	田田
	坂古	真弓	今上	志篠	田田
1 A	相田田	野原	岡下	大古	今上
	相田次	原原	佐坂	大古	大古
	相田城	増松	進	島田	島田
	相小井	松松	光	島田	島田
	相古坂	吉吉	正	島田	島田
	相坂重	正賢	弘	島田	島田
	相坂古	正美	一	島田	島田
	相坂坂	代	一	島田	島田
	相坂坂	由紀	一	島田	島田
	相坂坂	子範	一	島田	島田
2 I	有田田	田口	柏坂	稻植	富松
	北城小	口田	進	木下	下瀧
	坂重古	田田	中永	高田	川中
	坂古	野原	永井	牧中	内嶋
	坂行	原原	矢井	松中	井嶋
	坂古	増松	矢野	松山	山村
	坂行	松松	矢羽	森山	山
	坂古	吉吉	坂	森吉	山
	坂行	正賢	坂	坂	山
	坂古	美代	坂	坂	山
2 C	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
2 A	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
3 I	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
3 C	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
3 E	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
4 I	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
4 C	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
4 A	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
4 E	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進	木中	中村
	坂重古	田田	中永	西	西
	坂古	野原	永井	牧	牧
	坂行	原原	矢井	松	松
	坂古	増松	矢野	松	松
	坂行	松松	矢羽	森	森
	坂古	吉吉	坂	坂	坂
	坂行	正賢	坂	坂	坂
	坂古	美代	坂	坂	坂
1 A	有田田	田口	柏坂	古賀	尋木
	北城小	口田	進		

公開講座のおしらせ

講座名	期日	対象
情報処理領域 に向けての パソコン講座	平成5年5月22日～6月19日 (毎週土曜日14:00～17:00)	小学校・中学校の教諭
楽しい 電子工作教室	平成5年7月26日～7月27日 (9:00～16:00)	中学生
パソコン操作 技術講座	平成5年8月2日～8月6日 (13:30～16:30)	市民一般
やさしい 化学実験講座	平成5年7月27日～7月28日 (9:00～15:00)	中学生
おかあさんの ための ワープロ教室	平成5年8月2日～8月4日 (9:00～15:00)	主婦
パソコン お絵かき講座	平成5年7月29日～7月30日 (9:00～15:00)	中学生

30周年記念事業

本校は今年の4月をもって満30年を迎えた。創立30周年を記念していくつかの事業が計画されている。

1. 記念施設の設置
2. 資料室の整備
3. 記念式典
4. 30年誌の発行
5. 学生会の援助
6. 記念祝賀会

学生会援助の一環として、九州交響楽団を呼んでの演奏会が11月12日に予定されているし、記念式典（於学内）および記念祝賀会（於ガーデンホテル）はいずれも11月6日に計画されている。

高専大会日程

◎第30回九州地区国立工業高等専門学校体育大会

大会期日 平成5年7月23日(金)・24日(土)・25日(日)

担当校 久留米高専

陸上競技 久留米総合スポーツセンター
県立陸上競技場
ソフトテニス 久留米高専テニスコート
バドミントン 筑紫野市農業者
トレーニングセンター
水泳 小郡市市民プール

担当校 佐世保高専

硬式野球 (A) 佐世保野球場
(B) 佐世保高専野球場
柔道 長崎県立武道場
卓球 振興会体育館
剣道 長崎県立武道館

担当校 北九州高専

サッカー (A) 北九州高専グラウンド
(B) 北九州大青嵐グラウンド
バスケットボール 北九州市小倉北区体育館
バレーボール 北九州高専体育館
テニス 北九州プリンスホテル
テニスコート

◎第20回九州地区国立工業高等専門学校

ハンドボール大会

1. 主管校 鹿児島高専
2. 大会期日 平成5年7月18日(日)
3. 場所 国分市総合体育館

◎第23回西日本地区高等専門学校弓道大会

1. 主管校 宇部高専

2. 大会期日 平成5年7月22日(木)
3. 場所 宇部市営弓道場

編集後記◆

「高専だより」は、長い間に4回発行されてきたが、年に4回発行することがだんだん負担になってきたこともあって、年に3回、年に2回と発行回数が減ってきた。平成4年度は2回発行した。しかし、年に2回ではどうしても内容がずれてくる。そこで、今年からまた、3回発行することにした。本号が、本年最初の号である。内容は、年度末および年度初めの重要な学校行事、卒業式、入学式が中心になった。加えて、本号から、版をA4版に改めた。紙面が広くなったぶん、活字を大きくし、写真をこれまで以上にふやしてみた。以前より少しは読みやすくなつたであろうか。

有明高専だより 第80号
平成5年6月15日
編集 有明高専だより編集委員会
発行 有明工業高等専門学校
〒836 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-1011(代)